

上木城と飯倉城

～北伊勢の戦国～



チーム名 北伊勢捌番隊

1

目的



- 昔の阿下喜の城の作りを他の城から予想し阿下喜の城のサイズ、石垣の種類を知ること

2

飯倉城について分かったこと

- 飯倉城の種類は山城
- 城主は不明
- おそらく滝川一益に落とされた
- 空堀と土塁は二箇所ずつあり石垣も二ヶ所有った
- 燃え殻（落城跡）は0
- 意外と傾斜が酷い
- 今は枯葉で堀が浅くなっている約6尺6寸（2m）
- 当時はおそらく約19尺8寸（6m）
- 石垣のタイプは登り石垣
- 近くに墓がある
- 入って左がわのお墓のどれかが城主の墓



3

①



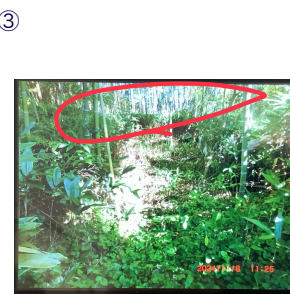
飯倉城ここら辺

②



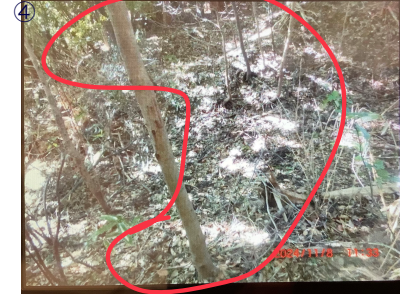
飯倉城の入り口

③



丸で囲んであるところが堀

④



丸で囲んであるのが土塁



2個目の堀

5



これらのどれかが
飯倉城城主の墓

上木城について分かったこと

- ・上木城は平山城
- ・上木城は信長の家来、滝川一益によって1668年に落城した(?)
- ・他の説だと1668年に落城はしたが、美濃の方に逃げたが、その先で病死した。
- ・空堀と土塁は2本ぐらい
- ・石垣は4本
- ・現在は一部団地になっている。
- ・滝川一益…織田信長の部下でここら辺の城を潰して行った人で良いイメージはない。
- ・平山城…平野の中にある山の上にある城。
- ・1668年…寛文八年。尾張徳川家二代藩主光友、戸山屋敷を拝領した年。
- ・織田信長…滝川一益の上司。良いイメージはあまり無い。



6

①



堀 ↗

②



深くなって行く堀 ↗

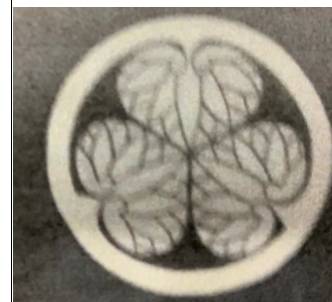
③



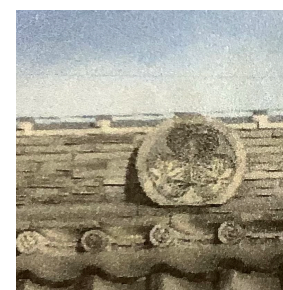
この下が堀 四九.五尺(15m)

7

見性寺について分かったこと



葵の紋所



この葵の紋所があるということは徳川家と関係がある可能性がある？



見性寺

感想

元々ここらの城は跡形もないと聞いたことがあったが、実際にそれぞれの城に行って今の状態を知ることができて良かったです。



これで終わります。